

平成 21 年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	医療系国家資格模擬体験授業と職場体験活動		
法人名	学校法人 恵済学園		
学校名	東武医学技術専門学校		
代表者	理事長 広瀬 秀男	担当者 連絡先	水野 貴之 TEL048(798)8123
1. 事業の概要			
<p>○経緯・背景</p> <p>本事業は、専修学校、医療機関、高等学校が連携を図り、専修学校の専門的なノウハウを活用し、また医療現場における高校生との視点との違い等を発見することにより、高校生が医療人を目指すにあたって、より医療の中身における様々な具体性が見え、職業観の高騰と共に、自身の将来像への足掛かりに繋げていけることを図り実施した事業であります。実施にあたり、埼玉県高等学校進路指導研究会のご後援、また医療機関として県内を中心に医療機関を有する上尾中央医科グループにもご協力を賜り、各専修学校の担当者だけでなく、高等学校関係者および医療機関関係者にも実施委員会にご参加いただき、より連携の強化を行いつつ、事業の実施と評価をおこなった。</p> <p>○特徴</p> <p>今回は医療の中でも、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士の高校生にとっては、馴染みの強い職種とそれほど強くはない職種の4つの職種で開催を行った。当初の事業計画の通り、3日間（1日4時間）のうち2日間（計8時間）を専修学校に於いて、職種内容、資格内容、知識、体験実習の講義や実習を行い、1日間（4時間）を医療機関において体験学習を行った。実施中に、参加高校生のその日ごとの学習内容のまとめ（レポート）を行い、実施後には、アンケートを取り事業成果を図った。また参加専修学校および参加高校生の在籍高等学校にもアンケートを実施し、様々な視点から、総合的に本事業の成果や協議を行った。</p> <p>○事業の実施</p> <p>事業の実施にあたっての役割分担としては、幹事校である東武医学技術専門学校が本事業の統括役を務める形で第1回実施委員会が開催された。事業の告知や広報活動に際し、名称として親しみやすいものが良いであろうという提案があり、本事業を「メディカルナビ 2009」～（医療職種をナビゲートする。）という意味を含めた名称にて高校訪問や告知（学校訪問、進学ネットサイトへの広告掲載、案内チラシ配布）を実施。また各担当分野において、体験学習の内容の構築と病院見学会の調整を行った。実施中に於いても、参加高校生に対し、1日1日毎に行った内容のまとめの時間を作り、理解度の向上を図った。実施後は、高校生、高等学校、参加専修学校へアンケートを実施し、実施報告書として冊子としてまとめを行い、分析、検討を行った。</p>			

○事業の概要（前年度未実施のため、昨年度比較記載なし）

開設講座数 : 4 講座

参加専修学校数 : 3 校

参加高等学校数 : 14 校

受講者数 : 104 人（3日間）

（内訳：高校1年生 3名 高校2年生 46名 高校3年生 55名）

開催時期 : 基準日を8月1日～8月12日に設定し、連続した3日間と設定

2. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座の実施

4つの医療職種に焦点をあて、プログラムを構成、実施した。

・開催プログラム（講座）一覧

講座名	担当専修学校・医療機関	開催日	受講者数	備考
看護師模擬体験授業と 職場体験活動	上尾中央看護専門学校 上尾中央総合病院	8月 3日（月） ～ 5日（水）	延べ 38名	病院見学 8月4日開催
臨床検査技師模擬体験 授業と職場体験活動	東武医学技術専門学校 上尾中央総合病院	8月 5日（水） ～ 7日（金）	延べ 21名	病院見学 8月7日開催
理学療法士模擬体験 授業と職場体験活動	上尾中央医療専門学校 一心会伊奈病院	8月10日（月） ～ 12日（水）	延べ 17名	病院見学 8月12日開催
作業療法士模擬体験 授業と職場体験活動	上尾中央医療専門学校 一心会伊奈病院	8月10日（月） ～ 12日（水）	延べ 28名	病院見学 8月12日開催

②その他

・より具体的な医療資格の体験学習と職場体験の流れを考え、高校生が参加しやすいと思われる夏休み後の開催となった。また本事業の理解度を図る意味で、3日間の事業計画を予定し、実施も行った。各専門学校ともオリジナルの教材と体験実習を用意し、体験学習をおこない、3日間のうち1日間の病院見学を行ったことによりタイムリーに専門学校で学んだことが現場で活かされている応用にも繋がった。

・高校生からのアンケートからも参加に対する「参加して良かった」、「将来の仕事を考える上で参考になった」とともに、99%の回答をいただき、また高等学校よりも「生徒の進路選択において、職種の仕事内容を体験授業で、かつ現場の生の声を生徒がきけてより職種に対するイメージが沸いたようである」というご意見もいただき、何かしらの形で本事業の継続を行っていきたいと考えている。

### 3. 事業の成果・評価に関する項目

#### ①目的・重点事項の達成状況・評価について

##### ○受講者へのアンケート調査結果

メディカルナビ2009に参加して良かった。

はい 99%      いいえ 0%      どちらともいえない 1%

具体的な仕事の目標は出来た。

はい 70%      いいえ 0%      どちらともいえない 30%

将来の仕事を考える上で参考になった。

はい 99%      いいえ 0%      どちらともいえない 1%

1・2年生での参加者に伺います。来年も参加したいと思いますか。

はい 65%      いいえ 0%      どちらともいえない 35%

##### ○高校教員へのアンケート調査結果

本企画は、生徒の医療系職種の職業教育として参考になりましたか？

参考になった 100%      普通 0%      参考にならなかった 0%

プログラムの内容（職種および体験授業・病院見学等）は適当でしたか？

職種（看護師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士）

適当 100%      物足りない 0%      どちらともいえない 0%

体験授業（2日間）・病院見学（1日）

適当 100%      物足りない 0%      どちらともいえない 0%

開催時期は、夏季休業中（8月上旬）でしたが、適当でしたか？

適当 100%      物足りない 0%      どちらともいえない 0%

本事業のご案内チラシの送付時期（7月上旬）およびお申込み方法（直接申込）は適当でしたか？

適当 75%      適当でない 25%      どちらともいえない 0%

ご希望の送付時期

・6月中旬くらい

次年度も実施を予定しておりますが、参加についてどのように考えておりますか？

参加 75%      どちらともいえない 25%      不参加 0%

上記アンケート結果は、12月16日に開催した第2回実施委員会に於いて、分析・検討を行った。

事業計画当初は、受け入れ高等学校3校という中でスタートしたが、実際参加した高等学校数が14校、104名の高校生に参加していただいた。ただ参加者は、決して多いという数字ではなかったが、その分体験授業

に於いては、キメ細かい指導ができたという点も参加専修学校からあがってきており、高校生の満足度の高さ（アンケートより、参加して良かった はい 99%、将来の仕事を決める上で参考になった はい 99%、具体的な仕事の目標ができた はい 70%）も多分に影響していると考えられ、本事業に於いて、有意義な体験学習と職場体験活動ができたものと思われる。その中でも、本事業の目玉でもあった、職場体験活動は高校生にとって、またと無い機会であったと伺える。普段、病院の外から見ている光景やメディアを通して伝わってくる情報などではなく、生の現場というものを体験できたことは、本当に百聞は一見に如かずでは、というものを証明したものであった。実際に、病院見学に於いては、当初こちらが予定していた内容以外にも、高校生より積極的な質問や意見かつ要望が出て、急遽見学の場所を増やすという光景も見られた。

3日間通して、参加した高校生には修了証の認定と授与を行い、ひとつの形として残せたことも高校生自身にとって、達成感が生まれたと感じているところである。高等学校からも医療系職種の職業教育として参考になった100%、プログラム内容、開催時期、開催日数とも適当である100%という評価をいただき、「医療系進学希望の生徒にとって、この仕事に進もうか悩んでいた際に、この企画を紹介し、参加後の生徒に感想をきいたところ、とても参考になったとの声があがった。」という意見もいただいた。また参加専修学校からも全体的な生徒の反応は良かったか75%、生徒は全体的に満足したか100%、本企画は有意義であったか100%というアンケート結果であった。以上の事から、高校生、高等学校、専修学校からいずれも高い評価をいただき、当初の目的は達成できたものと考えている。

## ②次年度以降における課題・展開

本事業は、今年度はじめて委託事業としての採択を受け行った事業ではあったが、我々が予想した以上に高校生からの実施後のアンケートや感想からも「参加して良かった」という声を多くいただいた。はじめてということもあり、試行錯誤で行ってきた事業ではあったが、今回の事業で得られた成果と反省を踏まえつつ、積極的により医療という点に特化し、本事業の今後の展開を図っていきたいと考えている。

実施委員会、実施報告、各種アンケートから様々な課題があがってきている。

特に以下が強化していかなくてはならない事項であると考えられる。